

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 3 月 24 日

札幌市立 平和小学校

1 今年度の重点目標

「心を大切にし、意欲的に学ぶ子どもの育成」  
 - ありがとうと思いやりがあふれる平和小学校(学校像) -  
 【子どもたちの全ての子がしあわせを感じる しあわせいっぱい平和の子】(子ども像)

2 本年度の経営方針

- |  |                          |
|--|--------------------------|
| 1 学ぶ力の育成<知:頭の体力>                                   | 7 教職員の資質向上               |
| 2 豊かな心の育成<徳:心の体力>                                  | 8 教育環境の整備                |
| 3 すこやかな身体の育成<体:体の体力>                               | 9 札幌らしい特色ある学校教育<雪・環境・読書> |
| 4 安心・安全な学校   |                          |
| 5 家庭・PTA・地域に信頼される学校                                |                          |
| 6 特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもへの教育)⇒ インクルーシブ教育の充実と人権教育の推進 |                          |

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	分析と改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
調和のとれた育ち	学ぶ力の育成	A	保護者の88%から、肯定的評価(そう思う・どちらかというと思う)を受けています。児童の「楽しく勉強している」という肯定的な評価も82%となっています。児童が学習の見通しをもち、個別探求や協同探求を行い学びを振り返ることで、自分の成長を実感できるように関わっていきます。	A	A
		B	児童の肯定的評価が70%を下回る結果となっています。昨年度と比較して改善は見られますが、児童の評価の中では一番低い評価です。授業において、友達と多様な意見を練り合い、学びを広げたり深めたりするよさを実感する経験を積むことにより、児童が「考えたい」「話したい」「聞きたい」といった思いを抱けるようにしていきます。	A	A
	豊かな心の育成	A	保護者の肯定的評価が88%、児童の肯定的評価が85%と、高い数値になっていますが、児童の相手に対する言い方、言葉遣いが気になることがあるとの意見も一定数あります。引き続き、児童が「時と場面」そして、相手の気持ちを考えた温かみのある正しい言葉遣いを意識できるように関わっていきます。	A	A
		A	保護者から91%の肯定的評価を受け、児童の評価も、85%と肯定的な評価が高い結果でした。児童の中に、規範意識がしっかりと育っていることが伺えます。自分の行動が、相手にとって嬉しいことなのかどうか理解することが、「相手を気遣う優しい行動」へとつながります。道徳の学習や具体的な場面で、相手の気持ちを考える関わりを大切にしています。	A	A
	健やかな体の育成	B	保護者から83%の肯定的評価を受け、児童の評価は77%の結果でした。コロナ禍が終わり、少しずつ運動量や体を動かすことへの意識が改善されていると思われます。学校では、体育の学習での運動量を確保するために、準備運動に縄跳びを取り入れたり、自分の体力に関心をもつために、体力テストの種目にチャレンジしたりしています。単に運動の楽しさを感じるだけではなく、体づくりの一環として、食指導や保健の学習など、必要な知識を学ぶことで、「進んで運動する子」が増えていくように、引き続き取り組んでいきます。	A	A
		A	保護者の肯定的な評価は73%ですが、児童の評価では6項目の中で一番高く、肯定的な評価が90%となっています。児童が、掃除当番や給食当番、学級の係活動など、自分の担当となった係の仕事に対して、熱心に、責任をもって取り組んでいる様子がよく分かります。仕事をやり遂げたことで認められ、褒められることが、『自己肯定感』にもつながります。	A	A

<p>学校関係者評価委員会 による意見</p>	<p>児童・保護者共に多くの項目で肯定的な評価となっており、日頃の教育活動が子どもたちの成長につながっていることがうかがえました。「思いやりをもち協力する姿」や「健康な体づくり」に関する取組は具体的な活動を通して、子どもたちの姿として表れているように感じます。保護者として学校に関わっていた立場からも、日々、子どもたちの成長につながっていることを感じてきました。こうした取組が子どもたちの成長につながり、中学校以降の学校生活にも生きていくことを期待しています。</p> <p>アンケート結果を見ると保護者と児童の結果がほぼ同じになっているところからも、評価が正しく反映されているのだと思います。「ねばり強く自ら取り組む子ども」の評価はBですが児童は苦手なことや難しい問題にも8割近くいっているのでAでもよい気がします。先生達の課題として、より高めていこうと意識されていることは素晴らしいと思います。授業公開を全員がしていることはとても研究熱心な先生のチームだとうれしく思います。きっと保護者も、そう感じていることと思います。地域性を活かし、これからも幼小連携して、恵まれた環境の中で健康な心と体づくりができるとういですね。(熊問題もありますが)</p> <p>子どもたちのすすんで学ぶ力や、他者への思いやりを強くするための取組を進め、健康増進のための取組としても、子どもたちが「楽しい」という気持ちとともに取り組めるような仕組みをつくっていらっしゃいます。また、ねばり強く困難な状況にも取り組む力については、目標達成の機会をつくることによって、更にその力を伸ばしていけるよう適切に取組を進めていらっしゃいます。</p>				
<p>保護者・地域との連携</p>	<p>信頼される学校の創造</p>	<p>A</p>	<p>どちらも90%を超える保護者から、肯定的評価を付けていただきました。 今後も保護者・地域の皆様一人一人のご意見に丁寧に対応し、更に信頼を寄せていただけるよう努めてまいります。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>
<p>学校関係者評価委員会 による意見</p>		<p>家庭や地域との連携を大切にしながら教育活動を進めていることを感じました。学校の取組や子どもたちの様子が保護者や地域に分かりやすく伝わることで、より多くの理解と協力につながるのではないかと思います。学校・家庭・地域がそれぞれの立場で子どもたちを見守りながら、安心して成長できる環境づくりが続いていくことを期待しています。</p> <p>アンケート結果から保護者の満足度が十分に伝わってきました。すぐーを始め、様々なアプリなどを利用し、連絡や学校側の思いが届いているのだと思います。</p> <p>学習公開や各種学校行事のご案内等を通して、学校の様子を保護者の方だけではなく、地域にも広く知らせていただいています。</p> <p>全体的には対応していただけてると感じております。信頼されるかどうかは、先生方の発言やふるまいが大事だと思っております。ここ数年、学校に出入りさせてもらってますが、しっかりと目を見て挨拶できる先生が少なく感じております。</p>			